

# I 今年度の研究推進

## 研究主題

### 夢中になって学ぶ子どもの育成

～子どもの学びを実現する単元構成からのコーディネート工夫～

今年度、指導委員会は、二本松市教育委員会の目指す子ども像「夢中になって学ぶ子ども」の育成に向けて研究を推進してきました。昨年度の学校訪問や各校の現職教育、指導委員自身の授業等から明らかになった課題をもとに、目指す子どもの姿を話し合い、その具現に向けた授業のあり方を検討しました。その結果、授業改善の視点を次の2点に焦点化しました。

○単元構成の工夫

○授業における深い学びのための教師のコーディネート工夫

次に、この授業改善の視点に応じた指導案の形式を工夫し、「夢中になって学ぶ子ども」の育成に向けて授業実践を重ねてきました。

### <夢中になって学ぶ姿とは？～目指す子どものイメージ～>

- 興味関心をもち課題に気付く。
- 自分の考えを表現する。
- 試行錯誤し、追究する過程を楽しむ。
- 他者と協力して学び合う。
- 間違いや失敗を恐れない。
- 次の課題を求め取り組む。
- 学びを実生活に生かす。
- など、学びに没頭している姿

### <授業改善の視点と内容>

#### 1 単元構成の工夫

- 単元や本時のゴール・育てたい姿を明確にする。
- 単元における本時の位置付けを明確にする。
- 生活や他教科等との関連を図るなど、魅力ある教材を開発する。

#### 2 教師のコーディネート工夫

- 気付きを促し多様な思考を生む発問を工夫する。
- 思考ツールやICT、座席表等を活用して子どもの考えを可視化する。
- 聞き返したり、再現させたり根拠を求めたりしながら、子どもの考えをつなぐ。

